

青春の実験箱

小田原市立城山中学校

第3学年通信

第5号

2021年11月2日(火)

進路決定を真剣に考える！！

秋も深まり、朝夕ひんやりとしてきました。学習発表会では、最高学年としての素晴らしい活躍が随所に見られ、その成長している姿に感動しました。みんなで創り上げた合唱で学年・学級が一つにまとまりました。この大切な仲間と共に3年生の一人ひとりが自らの進路を真剣に決定していくことを期待しています。



＜生徒会総務を経験して＞

この1年、私は生徒会総務の一員として活動してきました。去年の9月、生徒会役員選挙で生徒会副会長に立候補してからもう1年も経ったと考えると本当にあっという間です。選挙立候補締め切り1週間前、「あっ、生徒会選挙始まるんだ」と他人事のように思い、自分とは全く縁がないものだと考えていました。しかし締め切り日が近づくにつれ、「この機会を逃したらずっと後悔するかもしれない」と思うようになり、立候補することを決心し、OさんやTさんを始め、たくさんの人に支えられ、副会長になることができました。最初は生徒会として自分に何ができるだろう、とよく考えていました。先輩方の素晴らしいご活躍を見ていたので、私たちの代でもしっかり結果を残せるかなど不安に思うこともありました。学校の代表である、生徒会としての自覚をもって行動することが重要になり、これまで私が避けてきた“責任”が必要とされるようにもなりました。また、生徒会総務として共に活動することになった仲間には、共通した思いがありました。それは“城山中学校全体の仲をより深めたい”というものでした。そこで私たちが計画したのが、『ミッションインポッシブル』でした。このような全校生徒が参加する大がかりなレクリエーションは前例がなく、チーム分けやゲームの内容など一から計画をする必要があります。決して簡単なものではありませんでしたが、これを機に学年という壁を越えて学校全体の関係性を強くすることができてよかったです。生徒会を経

験して、責任を取ることの重要さなど、様々な事を学びました。どれも大変なことばかりだったけど自分自身、大きく成長することができたと思います。この1年を通して学んだことを生かしてこれから先も新たなことに挑戦していきたいです。(副会長 H. Eさん)

この1年間、生徒会長を経験して、忙しくはありましたが、その分多くのやりがいを感じることができました。生徒会活動は以前経験したことのある学年委員とは違い、城山中学校全体を引っ張っていくという規模の大きさに最初は戸惑いました。ですが、活動していると、一緒に活動している総務のメンバーや3年生のみんなが、「何か手伝う？」とか、「頑張ってー」とか、温かい言葉をかけてくれたり、提案したことを一生懸命にやってくれたりして僕は楽しく活動できました。協力してくれたみなさん本当にありがとうございました。この経験は、僕にとって大切なものになると思うし、この先の人生の役に立つと確信しています。後期は3年生にとって集大成なので、笑顔あふれる楽しい学年をつくり上げるとともに、個人としても、進路をしっかりと決めて、僕がしてもらったように、今までの経験を生かして、みんなのサポートをしていきたいと思っています。(会長 T. Sさん)

僕は1年間生徒会会計を務めました。最初は全く生徒会に入るなんて考えていませんでした。しかし、生徒会長であるSさんに誘われて、生徒会総務に入りました。最初は生徒会の仕事が僕で務まるのかとても心配でした。ですが、そんな心配は全く必要がなく生徒会メンバーみんなで協力して仕事を進めてきました。例えば生徒会ストリークの設置やシトラスリボンプロジェクト、全校レクリエーションをやってきました。どれも大変でしたが、みんなで協力してやり、楽しかったです。このような活動を通して生徒会スローガンであった「繋笑」を達成できたと思います。僕はこの生徒会活動を通じて、人前で話せる力が身に付きました。こういった力は大人になっても役に立つものだと思うので、生徒会活動を経験してよかったなと思います。これまで1年間生徒会役員として活動してきました。最初は正直嫌でしたが、時間はあっという間に過ぎてしまい、今では少し寂しい気持ちです。またこのような機会があれば経験してみたいです。1年間ありがとうございました。(会計 S. Tさん)



生徒会役員を経験して全校集会などのときに全校生徒をまとめることの大変さを実感しました。全校集会などの全校が集まるときは、クラスごとや委員会ごとに並んでもらうための指示を出します。マイクでやっても話している人などがいて全然並んでもらえず、最初のほうは並んでもらうだけでも10分とか15分かかってしまいました。1年経っても3分以内に並んでもらうのは難しく、改めて大変だと思いました。全校をまとめるのはあまり上手にならなかったけど、パワーポイントを使ったりしたことで、文をまとめて図やグラフ、色などを作って分かりやすく伝える力が付きました。また、少しだけタイピングも上手になりました。生徒会の活動を通して気づいたことや成長したことをこれからの生活に生かしていきたいです（書記 K. Nさん）

私は1年間、生徒会書記を務めさせていただきました。生徒会活動の企画や準備を行っていく中で、課題や問題が出てくるのは当たり前でしたが、7人で話し合い、意見を出し合うことで解決していきました。そのような生徒会活動はいつも忙しく、企画や準備も大変で、決して楽なものではありませんでした。しかし、その反面、この1年間でたくさんの経験を積み、大きなやりがいを感じることができました。例を1つずつ挙げます。まず、生徒会総務は人前で話したり説明したりすることが多くその度に緊張していましたが、経験を積むごとに慣れていき、落ち着いて話すことができるようになりました。そして、相手に分かりやすいように考えながら話すことができたと思います。また、生徒会が行う活動にはいつも、城中のみんなと一緒にやりたい！楽しんでほしい！という思いが込められています。企画や準備は大変ですが、活動した後に「楽しかった！」「やってよかった！」という声を聞くと、みんな活動の目的や意味を知った上で楽しんでくれたんだな、と大きな達成感を感じることができました。生徒会を通じて学んだことを無駄なものにしないように、この先環境が変わってもこれらの経験を生かしていきたいです。（書記 T. Mさん）

◆教育実習生からメッセージをいただきました

城山中学校の皆さん、こんにちは。教育実習生の田中です。2週間という限られた時間でしたが、学校生活を皆さんと過ごしていくなかで、多くのことを学ばせていただきました。初めは不安もありましたが、皆さんの気持ちの良い挨拶や、合唱練習での生き生きとした歌声に多くの元気をもらい、楽しくあっという間の2週間となりました。学習発表会に向けた合唱練習では、試行錯誤しながらより良い合唱にしようとする皆さんの姿から多くの刺

激をもらいました。そして、本番も観に行かせていただきましたが、皆さんの楽しそうに歌う姿やホールに響く歌声に圧倒され、とても感動しました。また、皆さんの真剣に取り組む姿から、私もこの2週間の学びをこれからの進路に生かして懸命に頑張っていこうと改めて決心することができました。みなさんもお身体に気をつけて、これからも充実した学校生活をお過ごしください。2週間、本当にありがとうございました。

保護者の眼差し

先生方におかれましては平素より子どもたちのために格別の愛情とご尽力を頂き、誠にありがとうございます。

この度山室佳子先生がご逝去されましたことは、とても残念で悲しく言葉が見つかりません。

毎月先生が選曲された英語の曲は私にとってはどれも懐かしく好きな曲ばかりでしたので、先生とは同世代で趣味も合うと感じておりました。体調が優れない先生を心配する我が子から聞く先生の姿を想像して、すぐ近くに死期が迫っていると察し、身を案じておりました。我が子には先生は壮絶な痛みや苦しみを抱えているはずなのに最期まで教壇に立つ覚悟なのだと、その姿から何を感じるのか、家族や親しい友人たちも先生と一緒にゆっくり過ごしたいはず、その姿で人前に出る勇氣、氣力。私には到底真似できないであろうその生き様をしっかりと見守り、受け止めるように話していました。先生方も一丸となって山室先生に協力し、授業ができるサポートなどをなさっていたことを聞き、大変胸が熱くなりました。

この城山中学校で素敵な先生方に囲まれ、子どもたちが多くのことを学べていることを大変有り難く思います。

保護者を代表して大きな声で伝えたいです。

山室先生、我が子は先生のことが大好きで「本当に良い人、本当に良い先生なの♡」と憧れておりました。先生が子どもたちに関わってくださった全てのこと、貴重な時間に感謝申し上げます。

これからは天国から子どもたちを見守っててください。ご冥福をお祈りいたします。（Mの母より）



